

国語表現

単位数	3単位	対象学年	3年	対象コース・クラス	調理服飾
使用教科書	国語表現 改訂版（大修館）	副教材等	テスト式国語常識の総演習（京都書房）		

1. 学習の到達目標

自分が考えたことを、他人にわかるように、話をしたり、文章に作り上げたりするには、どうすればよいか。さらに、自分なりの考えを作り出す表現者になるには、どうすればよいか。その基本技法を学んでいきます。
話す聞く・書く・考える能力を身につけ、的確に説得力をもって表現する力を身につけます。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

1. 言葉への関心を持たせ、表現への抵抗をなくして表現への道をひらく。
2. 情報社会において必要な文章作成の基本技法を身につける。
3. 「伝え合う」ための基本技法の実際を学ぶ。
4. 自分の考えを持ち、それを的確に説得力をもって述べる方法を学ぶ。
5. 国語の表現の特色、語句や語彙の成立及び言語の役割を理解する。

3. 学習上のメッセージ

1. 社会人として通用する正しい日本語を身につけよう。
2. 日本語検定に合格しよう。
3. 教科書以外の関心のある本や新聞記事を読み、高い学習意欲とその持続力を持とう。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次のつの観点から行う。

関心・意欲・態度	1. 自ら学ぶ姿勢を持ち、意欲的に学習に取り組んでいるか。 2. 自分の考えを持ち、積極的に表現しようとしているか。
話すこと・聞くこと	1. 自分の考えをまとめ、場面や目的に応じて話しているか。 2. 相手を尊重し、的確に聞き取っているか。
書くこと	1. 自分の考えをまとめ、相手や目的に応じて適切に文章にしているか。
読むこと	1. 自分の考えを深め、発展させながら文章を的確に読みとっている。 2. 積極的に文章に親しんでいるか。
知識・理解	1. コミュニケーション能力を支える語彙・漢字・表現力などを身につけているか。

（評価方法）

1. 授業に取り組む姿勢や授業中の態度
2. 定期テスト
3. 授業ノート・授業プリントの提出
4. 漢字検定、日本語検定等の受検結果

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
1 書いて伝える	レッスン1 整った文を書く レッスン2 わかりやすい文を書く レッスン3 文のつなぎ方 レッスン4 絵や写真を見て書く	1. 読み手と聞き手の違いを知る。 2. 分かりやすい話の構成を知る。 3. 5W1Hを理解する。 4. 文章作成などの表現行為に対する抵抗をなくす。 5. 文章作成のコツに気づかせる。1. 的確に話すための技法。 6. 事実を正確に、客観的に伝える技法。 7. 他者の理解や共感を得られる文章力。
1 学期中間試験		
2 小論文・レポート入門	レッスン1 小論文とは何か レッスン2 反論を想定して書く レッスン3 文章を読み取って書く レッスン4 統計資料を読み取って書く レッスン5 発想を広げて書く レッスン6 レポートを書く レッスン7 論文を書くために	1. 自分の意見を表現することの必要性を知る。 2. 意見文の構成の、基本の型を知る。 3. 伝達を目的とする表現にはどのようなものがあるかを知る。 4. 形式の整った手紙を学び、特に敬語の使用を意識する。 5. 読み手が共感するための配慮・工夫を知る。
1 学期期末試験		
3 自己PRと面接	レッスン1 自分を見つめて レッスン2 効果的な自己PR レッスン3 将来の自分を考えよう レッスン4 志望動機をまとめよう レッスン5 面接にチャレンジ	1. 自分を見つめ、自分を知ることで表現の土台を作る。 2. 分かりやすく相手に伝えるための構成を意識する 3. 相手に理解をさせるプレゼンテーション。 4. 相手に伝えられる表現を工夫する。 5. 面接の基本動作を身につける。
2 学期中間試験		
4 メディアを駆使する	レッスン1 通信文を書き分ける レッスン2 電話を使いこなす レッスン3 ネット社会とコミュニケーション レッスン4 メディアと情報	1. 礼状、案内状、依頼状など相手や目的によって通信文を使い分ける力をつける。 2. 社会人となって仕事で電話を使うときのマナーを身につける。 3. 電子メール、ブログ、掲示板、SNSなどのコミュニケーションツールを理解する。 4. テレビ、新聞、雑誌などのマスメディアの特徴を理解する。
2 学期期末試験		
5 声とコミュニケーション	レッスン1 言葉のストレッチ体操 レッスン2 リーダーズシアターを聞こう レッスン3 ショートスピーチをしよう	1. 「聞く」「話す」「伝え合う」ことの基礎的な力を培う。 2. 気持ちにふさわしい声の使い方を身につける。
6 会話・議論・発表	レッスン1 相手や場面に応じた会話 レッスン2 建設的な議論の進め方 レッスン3 プレゼンテーションの工夫	1. 目的や場面にふさわしい話し方や言葉遣いを身につける。 2. プレゼンテーションの方法とコツを理解する。
卒業試験		

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
学習の手引き シラバス説明												
1 レッスン1 整った文を書く												
レッスン2 わかりやすい文を書く												
レッスン3 文のつなぎ方												
レッスン4 絵や写真を見て書く												
1 学期中間試験												
2 レッスン1 小論文とは何か												
レッスン2 反論を想定して書く												
レッスン3 文章を読み取って書く												
レッスン4 統計資料を読み取って書く												
レッスン5 発想を広げて書く												
レッスン6 レポートを書く												
レッスン7 論文を書くために												
1 学期期末試験												
3 レッスン1 自分を見つめて												
レッスン2 効果的な自己PR												
レッスン3 将来の自分を考えよう												
レッスン4 志望動機をまとめよう												
レッスン5 面接にチャレンジ												
2 学期中間試験												
4 レッスン1 通信文を書き分ける												
レッスン2 電話を使いこなす												
レッスン3 ネット社会とコミュニケーション												
レッスン4 メディアと情報												
2 学期期末試験												
5 レッスン1 言葉のストレッチ体操												
レッスン2 リーダーズシアターを聞こう												
レッスン3 ショートスピーチをしよう												
6 レッスン1 相手や場面に応じた会話												
レッスン2 建設的な議論の進め方												
レッスン3 プレゼンテーションの工夫												
学年末試験												